

海津市 学校施設の長寿命化計画（案）

令和 2 年 月

海津市教育委員会

目 次

(1) 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	2
① 背景	2
② 目的	2
③ 計画期間	2
④ 対象施設	2
(2) 学校施設の目指すべき姿	3
① 安全性かつ快適性	3
② 学習活動への適応性	3
(3) 学校施設の実態	3
① 学校施設の運営状況等の実態	3
1) 対象施設一覧	3
2) 児童生徒数及び学級数の変化	4
3) 学校施設の配置状況	5
4) 施設関連経費の推移	6
5) 学校施設の保有量	7
6) 今後の維持・更新コスト（従来型）	8
② 学校施設の老朽化状況の実態	9
1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価	9
2) 今後の維持・更新コストの把握（長寿命型）	13
(4) 学校施設整備の基本的な方針等	14
① 学校施設の規模・配置計画等の方針	14
1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針	14
2) 学校施設の規模・配置計画等の方針	15
② 改修等の基本的な方針	15
1) 長寿命化の方針	15
2) 目標使用年数、改修周期の設定	16
(5) 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	16
① 改修等の整備水準	16
② 維持管理の項目・手法等	16
(6) 長寿命化の実施計画	17
① 改修等の優先順位付けと実施計画	17
1) 改修等の優先順位付け	17
2) 実施計画（今後5年間）	17
② 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針	17
(7) 長寿命化計画の継続的運用方針	18
① 情報基盤の整備と活用	18
② 推進体制等の整備	18
③ フォローアップ	18

(1) 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

①背景

海津市公共施設等総合管理計画（平成 27 年 12 月策定）において、海津市の学校教育施設は、15 施設、123 棟、延床面積 78,653 ㎡を有しており、延床面積は、市の公共施設全体の 38.9%を占めています。現在は、南濃中学校の廃校により、14 施設（13 校、学校給食センター1 施設）、108 棟、延床面積 71,583 ㎡となっています。

小中学校施設のうち、築 50 年以上の建物は高須小学校に 1 棟、城南中学校に 2 棟あり、築 30 年以上 50 年未満の建物は 61 棟あり、老朽化対策が大きな課題となっています。

また、一方で、人口減少により、児童生徒数が減少していること踏まえ、海津市公共施設等総合管理計画においては、学校規模の適正化、統廃合を検討していくことが方針として定められています。

②目的

これまで、老朽化対策として、吉里小学校大規模改造（平成 26 年度）、城南中学校北舎大規模改造（平成 27 年度）、平田中学校大規模改造（平成 28 年度）、日新中学校大規模改造（平成 29 年度）と老朽化の著しい学校について、大規模改造を実施してきました。

引き続き、老朽化の著しい学校について、順次、大規模改造を行って老朽化対策を行う計画ではあります。

しかしながら、これまでのように、順次、従来型の大規模改造によって老朽化対策を行うと、多額の費用が大きな財政負担となり、厳しい財政状況の本市にとっては、予算化できない状況となります。

このため、本計画は、学校規模の適正化、統廃合の検討状況を踏まえながら、老朽化対策及び改修工事の優先順位を設定しつつ、予防保全的な改修を実施していくことにより、コストの削減を図り、財政負担の軽減と平準化を図ることを目的とします。

③計画期間

本計画期間は、令和 2 年度（2020 年度）から令和 11 年度（2029 年度）までの 10 年間とします。

ただし、児童生徒数の大幅な増減、社会情勢や教育環境の変化等への対応が必要な場合は、計画期間に関わらず、随時見直すものとします。

④対象施設

本計画の対象施設は、以下のとおりとします。

施設区分	学校数
小学校	10 校
中学校	3 校
合 計	13 校

（２）学校施設の目指すべき姿

①安全性かつ快適性

地震や洪水に強く、防犯上でも安全安心な学校施設を目指します。

また、ユニバーサルデザインを基本に、児童生徒や教職員はもちろん、保護者や地域住民が訪れやすい空間となるよう配慮します。

②学習活動への適応性

児童生徒の主体性を養う空間の充実を図り、ICT 環境等の効果的・効率的な施設環境の整備を図ります。また、言語活動、理数教育、運動教育、伝統文化教育、外国語教育、読書教育、キャリア教育、食育、環境教育等々、多種多様な学習活動に対応・適応できる空間、施設づくりを目指します。

③地域の拠点化

災害時の避難所として対応できる施設整備を図ります。また、地域に開かれた、地域の生涯学習の拠点となりうる施設づくりを目指します。

（３）学校施設の実態

①学校施設の運営状況等の実態

1) 対象施設一覧

＜令和元年 5 月 1 日現在＞

施設名			住 所	児童生徒数（人）		学級数（学級）	
				通常学級 在籍者数	特別 支援	通常 学級	特別 支援※
小 学 校	1	高須小学校	海津町高須町 337	270	8	11	1
	2	吉里小学校	海津町松木 776-1	76	3	6	1
	3	東江小学校	海津町駒ヶ江 159	66	0	6	0
	4	大江小学校	海津町古中島 204	57	0	5	0
	5	西江小学校	海津町安田 72	82	0	6	0
	6	今尾小学校	平田町今尾 4434	186	14	6	3
	7	海西小学校	平田町野寺 1023	110	6	6	1
	8	石津小学校	南濃町吉田 319	310	4	12	1
	9	城山小学校	南濃町駒野 1317-8	267	9	11	2
	10	下多度小学校	南濃町津屋 1869	85	3	6	1
小学校計				1,509	47	75	10
中 学 校	1	日新中学校	海津町高須 531-1	340	9	10	2
	2	平田中学校	平田町蛇池 1318	179	2	6	1
	3	城南中学校	南濃町羽沢 1050	339	11	10	2
中学校計				858	22	26	5
小中学校合計				2,367	69	101	15

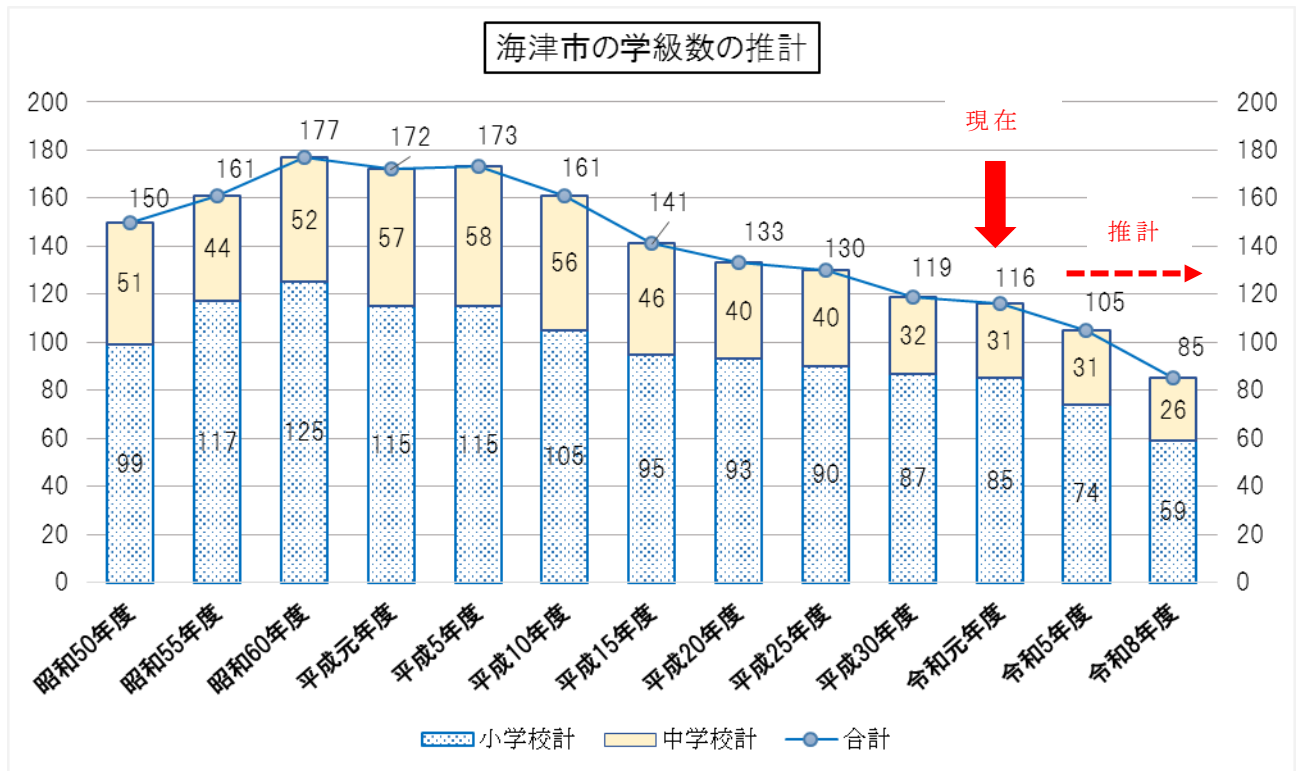
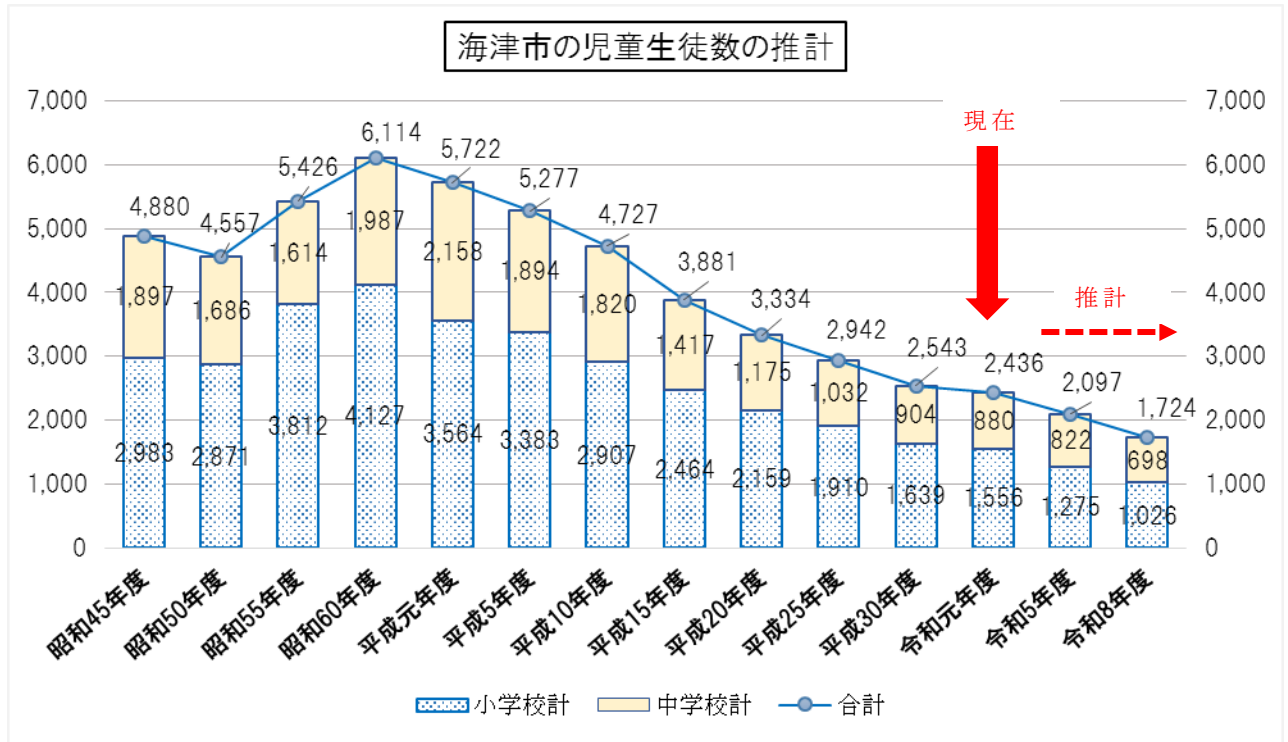
※特別支援学級のうち、高須及び城山小学校に LDHD 等通級教室があり、

高須・今尾・城山・石津小学校に巡回型の言語通級教室を設置しています。

2) 児童生徒数及び学級数の変化

海津市の小学校の児童数は、令和元年 5 月 1 日現在、1,556 人となっています。児童数のピークは昭和 59 年の 4,176 人で、現在はピーク時の 37% となっています。

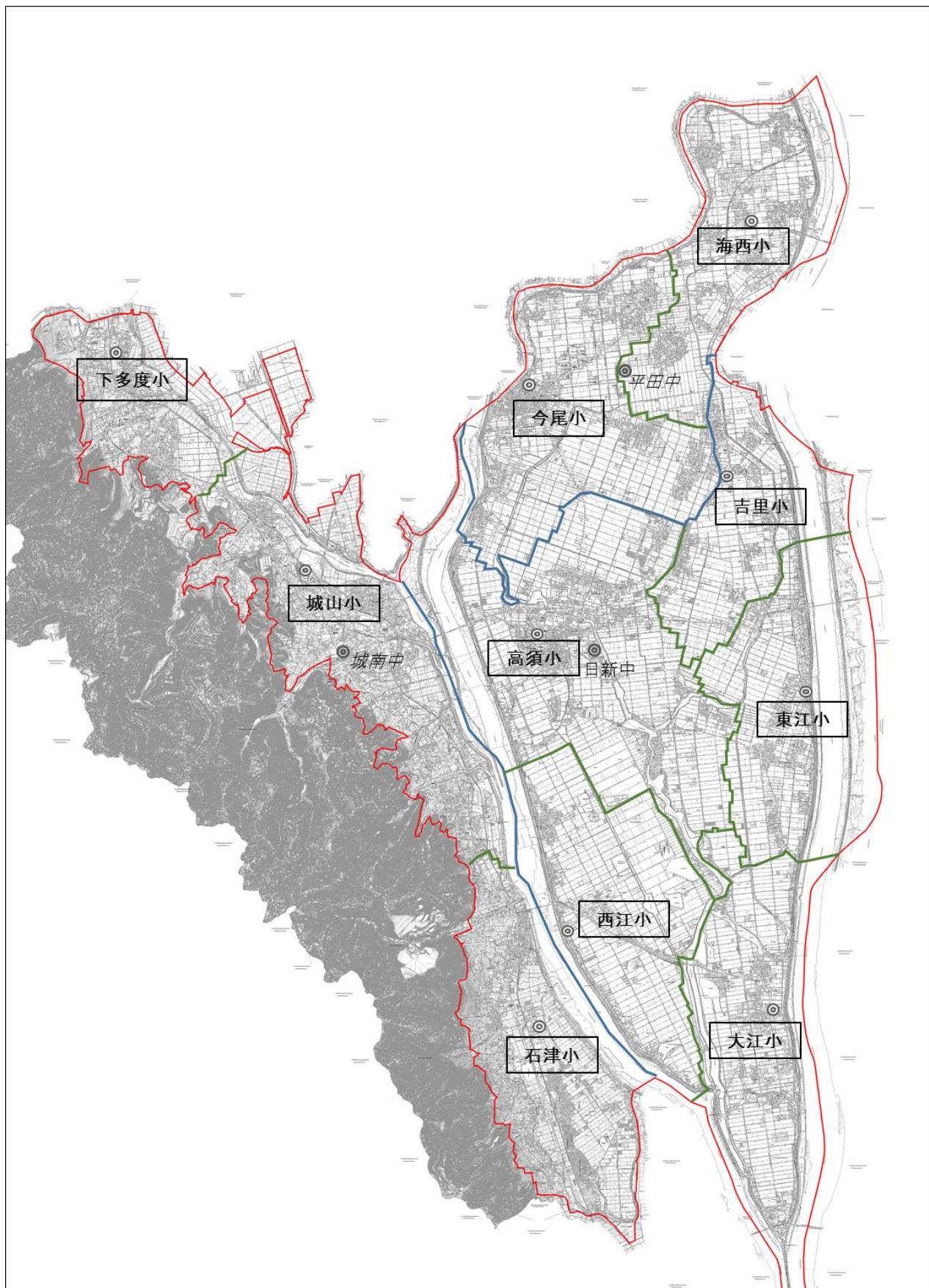
中学校の生徒数は、令和元年 5 月 1 日現在、880 人となっています。生徒数のピークは昭和 63 年の 2,233 人で、現在はピーク時の 39% となっています。



出典：学校基本調査

3) 学校施設の配置状況

小学校は、旧海津町に 5 校、旧平田町に 2 校、旧南濃町に 3 校配置されています。
中学校は、旧各町に 1 校ずつ配置されています。



4) 施設関連経費の推移

平成 26 年度から平成 30 年度の施設関連経費は、以下の表のとおり推移しています。

平成 26 年度は、吉里小学校の大規模改造事業及び城南中学校南舎整備事業で 574,549 千円支出しています。

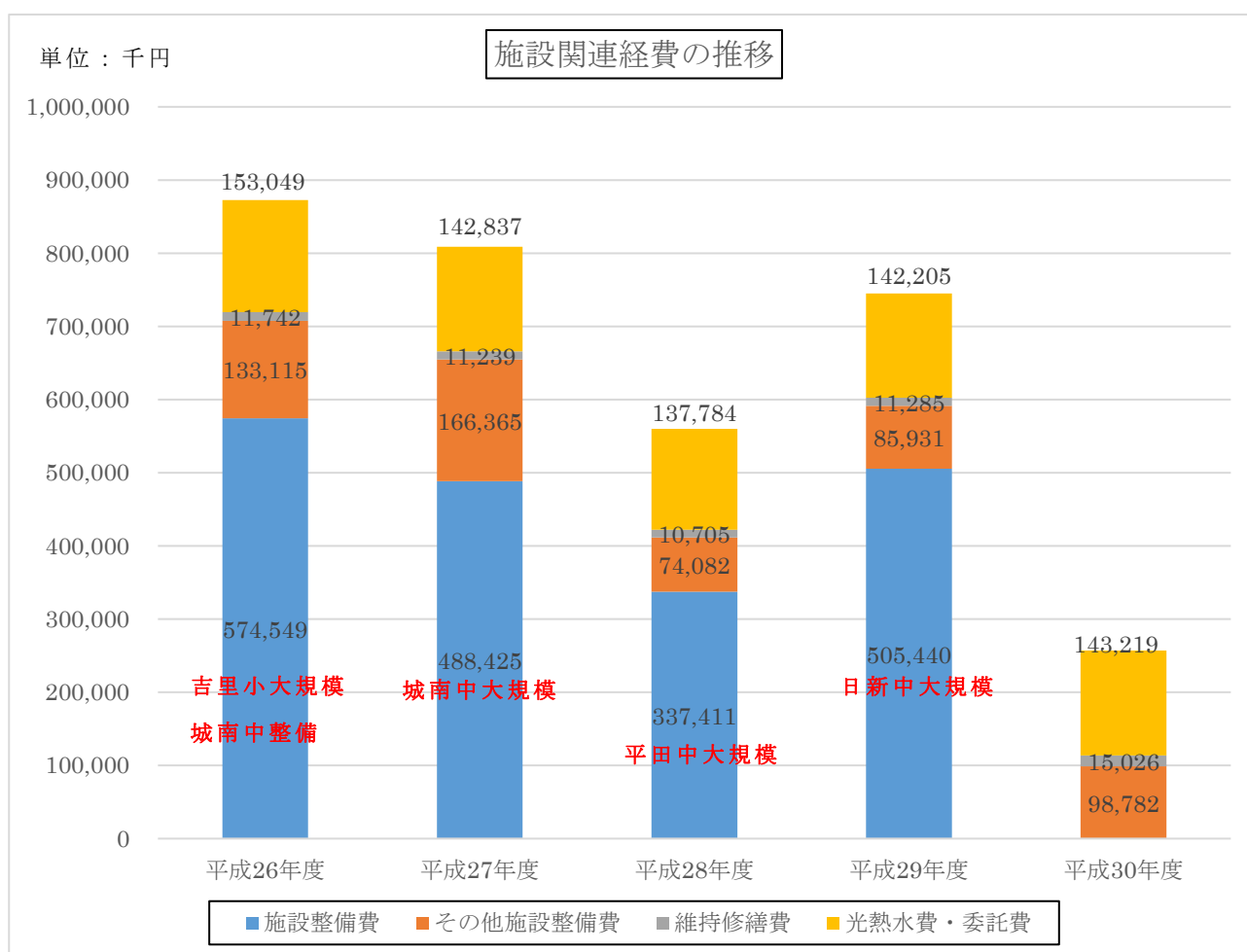
平成 27 年度は、城南中学校の南舎整備事業、北舎大規模改造事業、テニスコート整備事業等城南中学校関連事業で 488,425 千円支出しています。

平成 28 年度は平田中学校大規模改造事業で 337,411 千円の支出をしており、平成 29 年度は日新中学校大規模改造事業で 505,440 千円の支出をしています。

平成 30 年度は、大規模改造等を実施していません。

単位：千円

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	5 年平均
施設整備費	574,549	488,425	337,411	505,440	0	381,165
その他施設整備費	133,115	166,365	74,082	85,931	98,782	111,655
維持修繕費	11,742	11,239	10,705	11,285	15,026	11,999
光熱水費・委託費	153,049	142,837	137,784	142,205	143,219	143,819
合 計	872,455	808,866	559,982	744,861	257,027	648,638

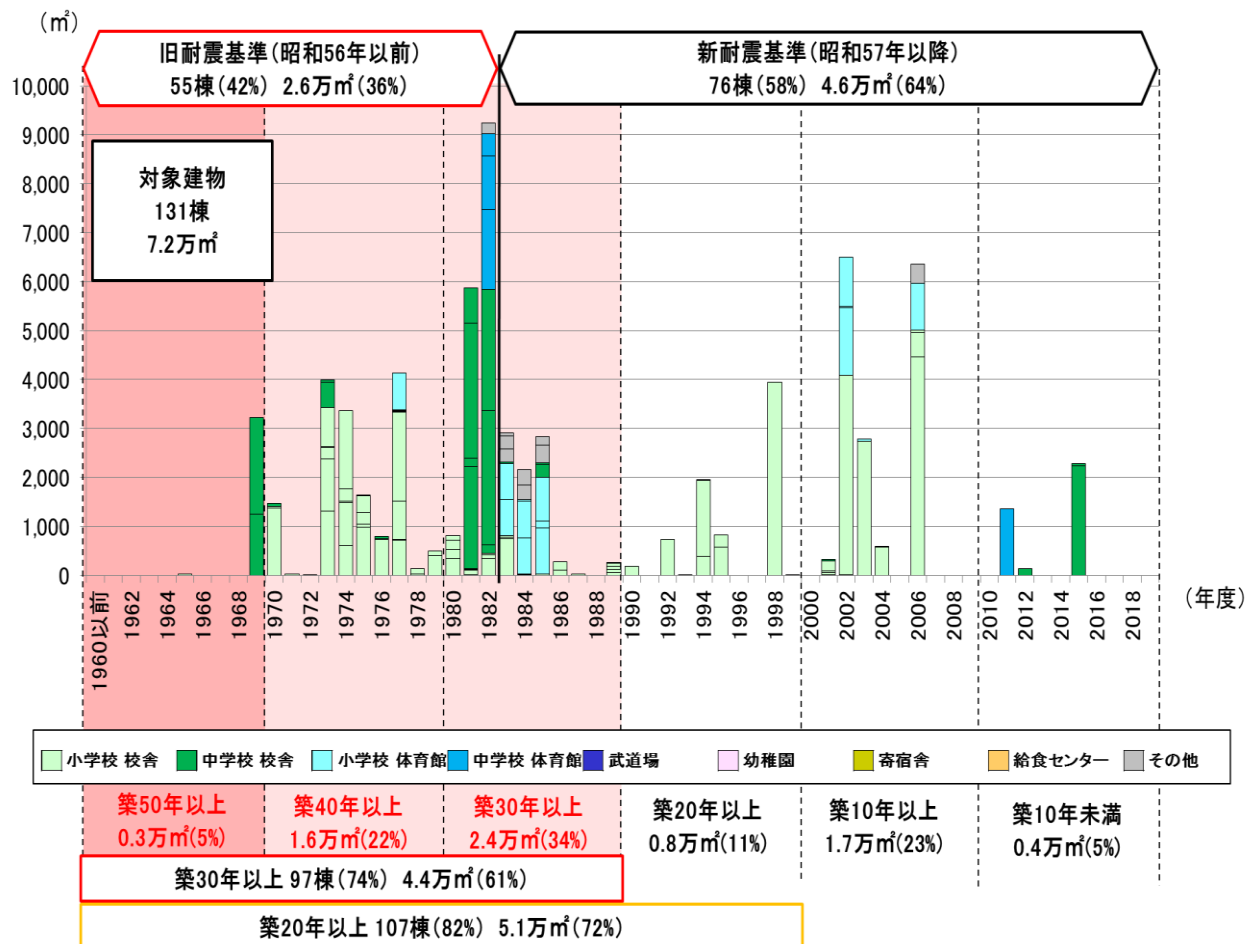


出典：学校教育費調査

5) 学校施設の保有量

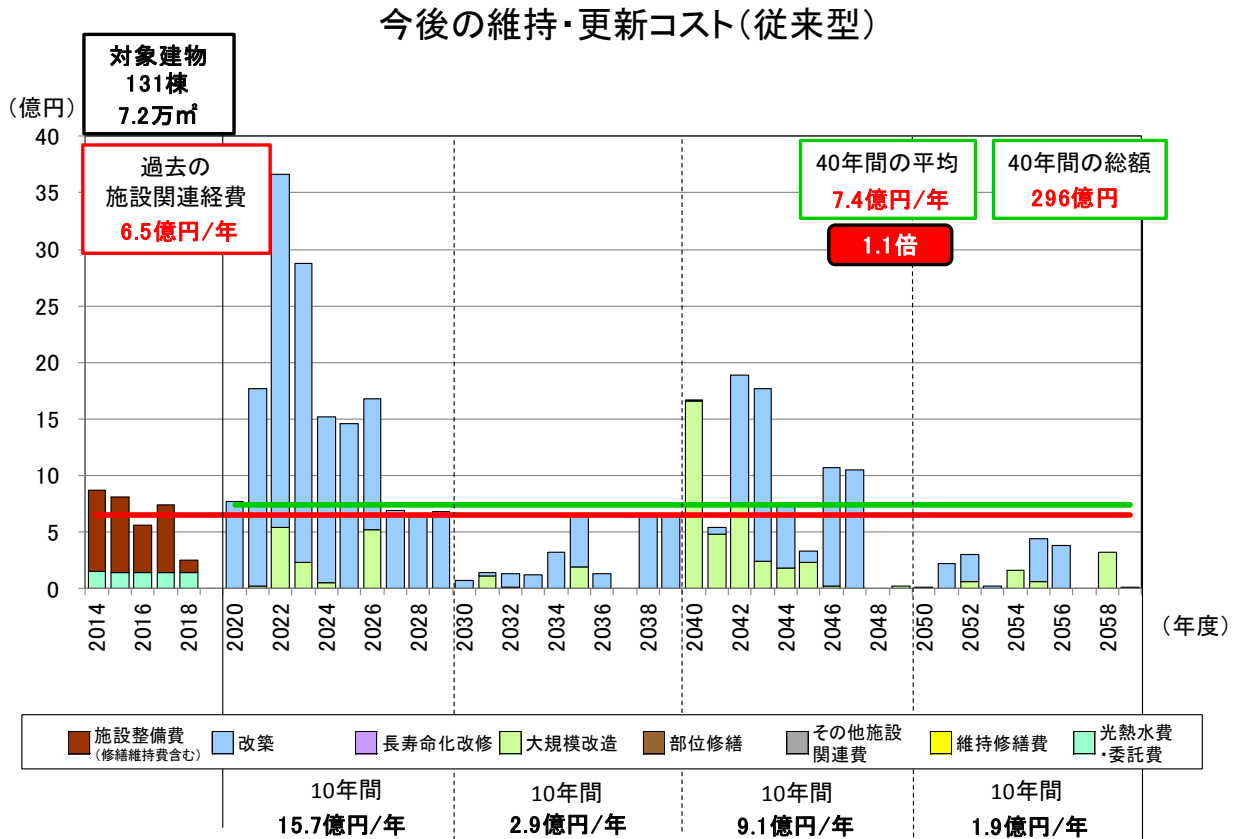
計画対象の小中学校は、築30年～39年の建物が2.4万㎡で全体の34%を占めています。また、築40年～49年の建物が22%で全体の22%を占めています。築30年以上の合計が4.3万㎡で、全体の61%を占めており、老朽化が進んでいます。

築年別整備状況



6) 今後の維持・更新コスト（従来型）

学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書の附属エクセルソフトを活用し、従来型の事後保全的な修繕や改修を今後も続けた場合における今後の維持・更新コストを概算すると、今後 40 年間の更新費用総額は約 296 億円となります。1 年あたりにすると約 7.4 億円/年となります。



※2019 年は計画策定年度で値未確定のため空欄としています

■費用試算【事後保全型】

・ 基準年度：2019 年		・ 試算期間：基準年度の翌年度から 40 年間	
【改築】		【大規模改造】	
・ 単価：330,000 円/㎡		・ 単価：82,500 円/㎡	
・ 更新周期：40 年		(改築の 25%。なお、体育館・武道館は 22%。)	
・ 工事期間：2 年		・ 実施年数：20 年周期	
※築 40 年以上の建物は 10 年以内に改築を実施		・ 工事期間：1 年	

②学校施設の老朽化状況の実態

1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

文部科学省の学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書に基づき、対象施設（小中学校 13 校の棟数 91 棟のうち小規模な建物※を除く 63 棟）を対象に、現地での目視調査等を実施し、「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上」「電気設備」「機械設備」の 5 つの部位に関して A～D の 4 段階評価を棟ごとに行いました。

また、劣化状況評価の結果を踏まえ、対象施設の優先度を検討するために、部位ごとの A～D 評価をもとに、健全度を算出しました。

※小規模な建物とは、倉庫、部室、便所、概ね 200 ㎡以下の建物等（校舎等と機能上不可分な渡り廊下、昇降口等を除く）

【構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価 1/3】

建物基本情報					構造躯体の健全性						劣化状況評価					
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟名	耐震安全性			長寿命化判定			屋 根 ・ 上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)
					基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度	試算上 の区分						
1	161	高須小学校	校舎	南舎西	旧					長寿命	B	C	C	C	C	43
2	161	高須小学校	校舎	南舎中	旧					長寿命	B	C	C	C	C	43
3	161	高須小学校	校舎	南舎東	旧					長寿命	B	C	C	C	C	43
4	161	高須小学校	校舎	西舎	旧					長寿命	B	D	D	C	C	23
8	161	高須小学校	校舎	プール棟	旧					長寿命	B	B	B	B	B	75
9	161	高須小学校	校舎	プール棟	旧					長寿命	B	B	B	B	B	75
10	161	高須小学校	屋内運動場	体育館	新					長寿命	C	C	B	B	B	62
11	161	高須小学校	屋内運動場	体育館	新					長寿命	C	C	B	B	B	62
13	161	高須小学校	校舎	北舎	新					長寿命	B	B	D	B	B	51
14	163	吉里小学校	校舎	校舎中	旧					長寿命	B	C	B	B	B	65
15	163	吉里小学校	校舎	校舎西	旧					長寿命	B	C	B	B	B	65
16	163	吉里小学校	校舎	校舎東	新					長寿命	B	C	B	B	B	65
18	163	吉里小学校	屋内運動場	体育館	新					長寿命	C	B	B	B	B	72
19	163	吉里小学校	地域・学校連携施設	体育館	新					長寿命	C	B	B	B	B	72
21	163	吉里小学校	校舎	プール棟	新					長寿命	B	B	B	C	B	70
22	164	東江小学校	校舎	北舎	旧					長寿命	D	C	D	C	C	26
23	164	東江小学校	校舎	倉庫等	旧					長寿命	D	C	D	C	C	26
24	164	東江小学校	校舎	南舎	新					長寿命	D	C	B	B	B	59
25	164	東江小学校	屋内運動場	体育館	新					長寿命	C	B	B	B	B	72
26	164	東江小学校	地域・学校連携施設	体育館	新					長寿命	C	B	B	B	B	72
28	164	東江小学校	校舎	プール棟	新					長寿命	B	B	B	B	B	75
30	164	東江小学校	校舎	多目的室	新					長寿命	C	C	B	B	B	62
31	165	大江小学校	校舎	校舎東	旧					長寿命	B	C	B	B	B	65
32	165	大江小学校	校舎	校舎中	旧					長寿命	B	C	B	B	B	65
37	165	大江小学校	屋内運動場	体育館	新					長寿命	C	C	C	B	B	49
38	165	大江小学校	地域・学校連携施設	体育館	新					長寿命	C	C	C	B	B	49

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

【構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価 2/3】

建物基本情報					構造躯体の健全性						劣化状況評価					
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟名	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
					基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度	試算上 の区分						
39	165	大江小学校	校舎	プール棟	新					長寿命	B	B	B	B	B	75
40	165	大江小学校	校舎	校舎西	新					長寿命	B	C	B	B	B	65
44	166	西江小学校	校舎	北舎	旧					長寿命	C	D	C	B	B	40
45	166	西江小学校	屋内運動場	体育館	新					長寿命	C	C	C	B	B	49
46	166	西江小学校	地域・学校連携施設	体育館	新					長寿命	C	C	C	B	B	49
47	166	西江小学校	屋内運動場	体育館	新					長寿命	C	C	C	B	B	49
48	166	西江小学校	校舎	プール棟	新					長寿命	B	B	B	B	B	75
49	166	西江小学校	校舎	北舎	新					長寿命	B	B	B	A	A	81
52	167	今尾小学校	校舎	図書室	旧					長寿命	C	C	C	C	C	40
53	167	今尾小学校	校舎	渡り廊下	新					長寿命	C	C	C	C	C	40
55	167	今尾小学校	屋内運動場	体育館	新					長寿命	C	C	C	B	B	49
56	167	今尾小学校	地域・学校連携施設	体育館	新					長寿命	C	C	C	B	B	49
57	167	今尾小学校	校舎	プール棟	新					長寿命	C	D	D	C	B	24
59	167	今尾小学校	校舎	校舎西	旧					長寿命	C	B	C	C	C	50
60	167	今尾小学校	校舎	校舎中	旧					長寿命	C	B	C	C	C	50
61	167	今尾小学校	校舎	校舎東①	旧					長寿命	C	B	C	C	C	50
62	167	今尾小学校	校舎	校舎管理棟	旧					長寿命	B	C	C	C	C	43
65	167	今尾小学校	校舎	校舎管理棟②	新					長寿命	B	C	C	C	C	43
66	171	石津小学校	校舎	プール棟	旧					長寿命	C	C	B	C	B	57
68	171	石津小学校	校舎	北舎	新					長寿命	D	B	B	A	A	76
69	171	石津小学校	校舎	南舎西	新					長寿命	A	A	A	A	A	100
70	171	石津小学校	地域・学校連携施設	南舎東	新					長寿命	A	A	A	A	A	100
71	171	石津小学校	校舎	渡り廊下	新					長寿命	D	B	B	A	A	76
72	171	石津小学校	屋内運動場	体育館	新					長寿命	A	A	A	A	A	100
74	172	城山小学校	校舎	プール棟	旧					長寿命	C	C	C	C	C	40
76	172	城山小学校	校舎	校舎北	新					長寿命	A	A	B	A	A	91
77	172	城山小学校	屋内運動場	体育館	新					長寿命	A	B	A	A	A	93
78	172	城山小学校	屋内運動場	体育館	新					長寿命	A	B	A	A	A	93
79	172	城山小学校	校舎	校舎東	新					長寿命	A	A	B	A	A	91
82	173	下多度小学校	校舎	プール棟	新					長寿命	B	D	D	B	C	28
83	173	下多度小学校	校舎	プール棟	新					長寿命	B	D	D	B	C	28
84	173	下多度小学校	校舎	倉庫等	新					長寿命	C	B	B	C		58
85	173	下多度小学校	校舎	北舎東	新					長寿命	C	B	B	B	B	72
86	173	下多度小学校	校舎	北舎西	新					長寿命	C	B	B	B	B	72

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

【構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価 3/3】

建物基本情報					構造躯体の健全性						劣化状況評価					
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟名	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
					基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度	試算上 の区分						
87	173	下多度小学校	屋内運動場	体育館	新					長寿命	A	A	A	A	A	100
88	173	下多度小学校	屋内運動場	体育館	新					長寿命	A	A	A	A	A	100
90	173	下多度小学校	校舎	南舎	旧					長寿命	B	B	B	B	B	75
92	174	海西小学校	校舎	校舎西①	旧					長寿命	A	C	C	C	C	45
93	174	海西小学校	校舎	校舎西②	新					長寿命	A	C	C	C	C	45
94	174	海西小学校	校舎	校舎	旧					長寿命	A	C	C	C	C	45
99	174	海西小学校	屋内運動場	体育館	旧					長寿命	A	C	C	C	C	45
100	174	海西小学校	校舎	プール棟	旧					長寿命	C	C	C	C	C	40
103	174	海西小学校	校舎	校舎北	新					長寿命	B	A	A	A	A	98
104	3581	日新中学校	校舎	北舎	旧					長寿命	A	A	B	B	B	84
105	3581	日新中学校	校舎	昇降口	旧					長寿命	A	A	B	B	B	84
106	3581	日新中学校	校舎	南舎	旧					長寿命	A	A	B	B	B	84
107	3581	日新中学校	校舎	食堂	旧					長寿命	A	A	B	B	B	84
108	3581	日新中学校	部室	倉庫等	新					長寿命	C	B	B	B		63
109	3581	日新中学校	校舎	プール棟	新					長寿命	C	B	B	B	B	72
110	3581	日新中学校	屋内運動場	体育館	新					長寿命	B	B	B	B	B	75
111	3581	日新中学校	校舎	南舎東	新					長寿命	A	A	B	B	B	84
112	3581	日新中学校	校舎	倉庫等	新					長寿命	A	A	B	B	B	84
114	3582	城南中学校	校舎	北舎東	旧					長寿命	C	C	B	B	B	62
120	3582	城南中学校	校舎	北舎	旧					長寿命	C	C	B	B	B	62
121	3582	城南中学校	屋内運動場	体育館	新					長寿命	A	A	A	A	A	100
122	3582	城南中学校	校舎	倉庫等	新					長寿命	A	A	A	A	A	100
123	3582	城南中学校	校舎	南舎	新					長寿命	A	A	A	A	A	100
124	3582	城南中学校	校舎	渡り廊下	新					長寿命	A	A	A	A	A	100
125	3585	平田中学校	校舎	北舎	新					長寿命	B	D	D	B	B	32
126	3585	平田中学校	校舎	南舎	新					長寿命	B	D	D	B	B	32
127	3585	平田中学校	屋内運動場	体育館	新					長寿命	C	B	C	B	B	59
128	3585	平田中学校	屋内運動場	体育館	新					長寿命	C	B	C	B	B	59
129	3585	平田中学校	校舎	プール棟	新					長寿命	C	B	C	C	B	54
130	3585	平田中学校	部室	プール棟	新					長寿命	C	B	C	C	B	54
131	3585	平田中学校	校舎	北舎西	新					長寿命	B	D	D	B	B	32

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

【劣化状況評価における評価基準の考え方】

劣化状況評価について、文部科学省の「解説書」では、A～D 評価の評価基準に関して、下記のように定めています。本計画では、基本的に、下記の評価基準に基づき評価を行いました。が、内部仕上、電気設備、機械設備に関しては、現地での目視調査にて劣化等が見られた場合には、その結果も踏まえて評価しています。

評価基準

目視による評価【屋上、外壁】

	評価	基準
良好	A	概ね良好
	B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
	C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
劣化	D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

経過年数による評価 【内部仕上、電気設備、 機械設備】

	評価	基準
良好	A	20年未満
	B	20～40年
	C	40年以上
劣化	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

【健全度の考え方】

◆健全度の算定

健全度とは、各建物の 5 つの部位について劣化状況を 4 段階で評価し、100 点満点で数値化した評価指標です。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を 100 点満点で算定しています。なお、②部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に、同算定表における「長寿命化」の 7%分を、屋根・屋上、外壁に按分して設定しました。

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

③健全度

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。
※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

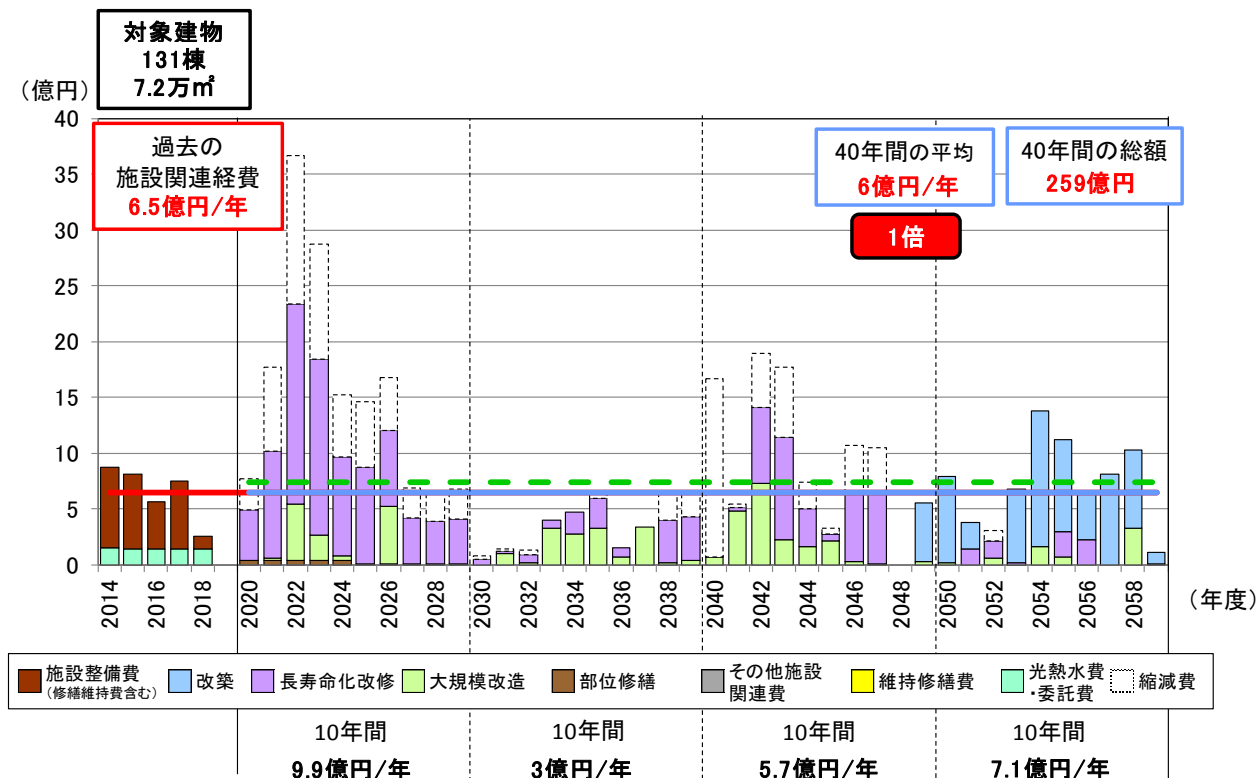
(右図「劣化状況調査票」記入例における健全度計算例)

	評価	評価点	配分	
1 屋根・屋上	C	40	5.1	204
2 外壁	D	10	17.2	172
3 内部仕上げ	B	75	22.4	1,680
4 電気設備	A	100	8.0	800
5 機械設備	C	40	7.3	292
計				3,148
				÷ 60
				健全度 52

2) 今後の維持・更新コストの把握（長寿命型）

学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書の附属エクセルソフトを活用し、長寿命化型（予防保全型）の修繕や改修を行った場合における今後の維持・更新コストを概算すると、今後 40 年間の更新費用総額は約 259 億円となり、従来型と比較すると、約 37 億円の減額となります。1 年あたりにすると約 6 億円/年となり、従来型と比較すると、約 1.4 億円の減額となります。

今後の維持・更新コスト(長寿命化型)



※2019 年は計画策定年度で値未確定のため空欄としています

■コスト試算条件（長寿命化型）

・基準年度：2019 年 ・試算期間：基準年度の翌年度から 40 年間	
【改築】 ・単価：330,000 円/㎡ ・更新周期：80 年 ・工事期間：2 年 ※築 80 年以上の建物は 10 年以内に改築を実施	【長寿命化改修】 ・単価：198,000 円/㎡（改築の 60%） ・改修周期：40 年 ・工事期間：2 年 ※築 40 年以上の建物は 10 年以内に長寿命化改修を実施
【大規模改造】 ・単価：82,500 円/㎡ （改築の 25%。なお、体育館・武道館は 22%。） ・実施年数：20 年周期 ※ただし、改築、長寿命化改修の前後 10 年間に重なる場合は実施しない	【部位修繕】 ・D 評価：今後 5 年以内に部位修繕を実施 ・C 評価：今後 10 年以内に部位修繕を実施 ※ただし、改築、長寿命化改修、大規模改造を今後 10 年間に実施する場合を除く ・A 評価：今後 10 年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く

(4) 学校施設整備の基本的な方針等

①学校施設の規模・配置計画等の方針

1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

公共施設等管理計画 の基本方針	基本方針 1 公共施設の適正配置 ・類似施設の重複や過剰な配置を避け、市全体として効果的かつ適正な配置に向けて計画的に取り組みます。 基本方針 2 既存施設の有効活用による効率的な行政経営 ・今後は、既存施設の有効活用に重点を置き、人口構成や社会情勢の変化により、既に稼働率の低下や余裕スペースが発生している施設については、維持コストや行政サービスの効用、住民のニーズなどを総合的に検討し、他施設との機能統合、用途転換、廃止を行うなどの見直しを行います。 ・廃止する施設については、建築物自体、あるいは建築物撤去後の跡地について、資産としての有効活用を図ります。 基本方針 3 予防保全の推進 ・損傷等が発生した後に修繕などを行う「事後保全型」から、計画的に保全や改築等を行う「予防保全型」へと転換し、機能の保全・向上と耐用年数の長寿命化を図ります。 基本方針 4 民間活力の導入 ・行政が撤退しても民間によるサービスの量や質が確保される施設、又は民間の方が効率的・効果的に運営できる施設は、積極的にアウトソーシングを検討・推進します。
公共施設等管理計画 の施設類型別方針 【学校】	・学校教育施設は、将来の少子化の動向を注視しつつ学校規模の適正化、統廃合を検討していきます。



学校施設の長寿命化 計画の基本方針	基本方針 1 既存施設の活用による長寿命化の推進 ・少子化や厳しい財政事業を鑑みて、改築や新築ではなく、既存施設の有効利用による大規模改造や長寿命化改修を実施していきます。 ・学校プールは、長寿命化改修等を行わず、老朽化等により使用できなくなった場合は、市民プールを利用します。 基本方針 2 適正配置の実施 ・児童生徒数の動向に注視し、海津市小中学校の適正規模等に関する検討委員会に取りまとめられた基本方針に基づき、学校施設の適正配置を実施していきます。
----------------------	---

2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

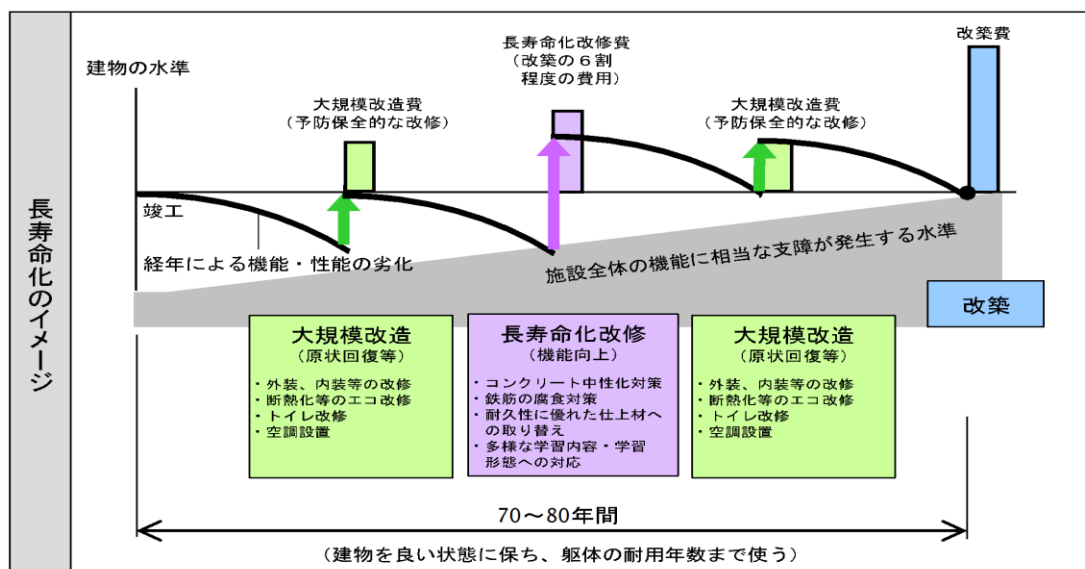
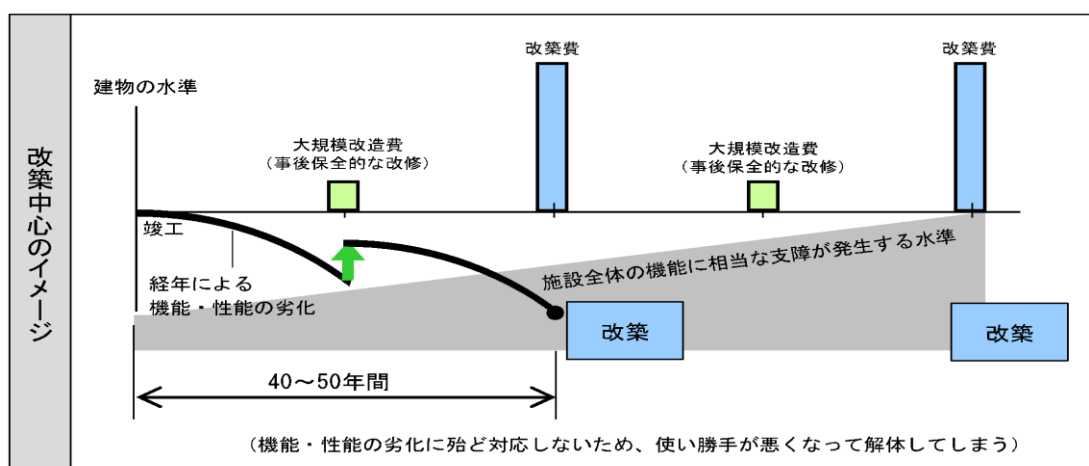
海津市小中学校の適正規模等に関する検討委員会で取りまとめられた基本方針に基づき、小中学校の規模・配置計画は、それぞれ以下のとおりとします。

- ・小学校は、地理的条件や歴史的な地域性を考慮し、必要となる学校規模を少なくとも1学年1学級以上の学校規模とし、すでに複式学級が存在している海津地区において「仮称：海津地区の小学校の統合検討委員会」を設置し、十分な協議・調整を経て海津地区の小学校統合実施計画を策定していくものとします。その他の地区においては、順次対応を検討していきます。
- ・中学校は、生徒数の動向は注視していくものの、現状の学校規模を堅持していくものとします。

②改修等の基本的な方針

1) 長寿命化の方針

改築中心による整備から長寿命化改修工事による既存施設の長寿命化を図ります。また、トイレの洋式化率向上のための整備を図ります。



2) 目標使用年数、改修周期の設定

目標使用年数、改修周期の目標を以下のとおり設定します。

	目標使用年数	大規模改造の周期	長寿命化改修の周期
校 舎	80 年	築 20 年／60 年	築 40 年
体育館	80 年	築 20 年／60 年	築 40 年

(5) 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

①改修等の整備水準

構造体の長寿命化やライフラインの更新等により建物の耐久性を高めるとともに、省エネ化や多様な学習形態による活動が可能となる環境の提供など、現代の社会的要素に応じるための改修を実施するものとします。

具体的には、文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部が示した「小学校施設整備指針」及び「中学校施設整備指針」に沿って整備を行います。

②維持管理の項目・手法等

学校施設の維持管理を効率的かつ効果的に実施するため「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」に示す劣化状況調査票を点検項目として、3年ごとに点検を実施します。

通し番号				学校番号				調査日			
学校名				建物名				記入者			
棟番号				建造年				年度			
検査種別				延床面積	㎡			階数			
				地上				地下			

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事年度(年度別)	劣化状況 (該当回答可)	付記事項	評価
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☐ 勾配屋根(瓦、金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦葺) ☐ その他の屋根 ()		☐ 陥凹時に腐蝕がある ☐ 天井等に腐蝕がある ☐ 防水層に腐れ・亀裂がある ☐ 屋根集排水・排水がある ☐ 空・立上り等に損傷がある ☐ 漏れ・排水を目視確認できない ☐ 既存点検等で確認がある		
2 外壁	☐ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属板・パネル ☐ コンクリート系・パネル(ALC等) ☐ その他の外壁 () ☐ アルミサッシ ☐ 断熱サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス		☐ 鉄筋が露出しているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗膜の剥がれ ☐ タイルや石が割れている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに腐食・変形がある ☐ 外壁手すり等の腐食・変形 ☐ 既存点検等で確認がある		

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	付記事項(改修内容及び点検等による修繕事項)	評価
3 内装仕上 (床・壁・天井) (内装建具) (断熱切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 窓枠改修 ☐ エコ改修 ☐ トイレ改修 ☐ 床・天井 ☐ 断熱材 ☐ 照明器具 ☐ エアコン等 ☐ 断熱材等対策 ☐ 防犯対策 ☐ 構造体の耐震対策 ☐ 非構造部材の耐震対策 ☐ その他の内装改修工事			
4 電気設備	☐ 分電盤改修 ☐ 配電等の配線工事 ☐ 照明設備改修工事 ☐ その他の電気設備改修工事			
5 機械設備	☐ 給排水設備改修 ☐ 排水設備改修 ☐ 消防設備の点検 ☐ その他の機械設備改修工事			

付記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による修繕事項があれば、該当部位と修繕内容を記載)

健全度
 0 / 100点

(6) 長寿命化の実施計画

①改修等の優先順位付けと実施計画

1) 改修等の優先順位付け

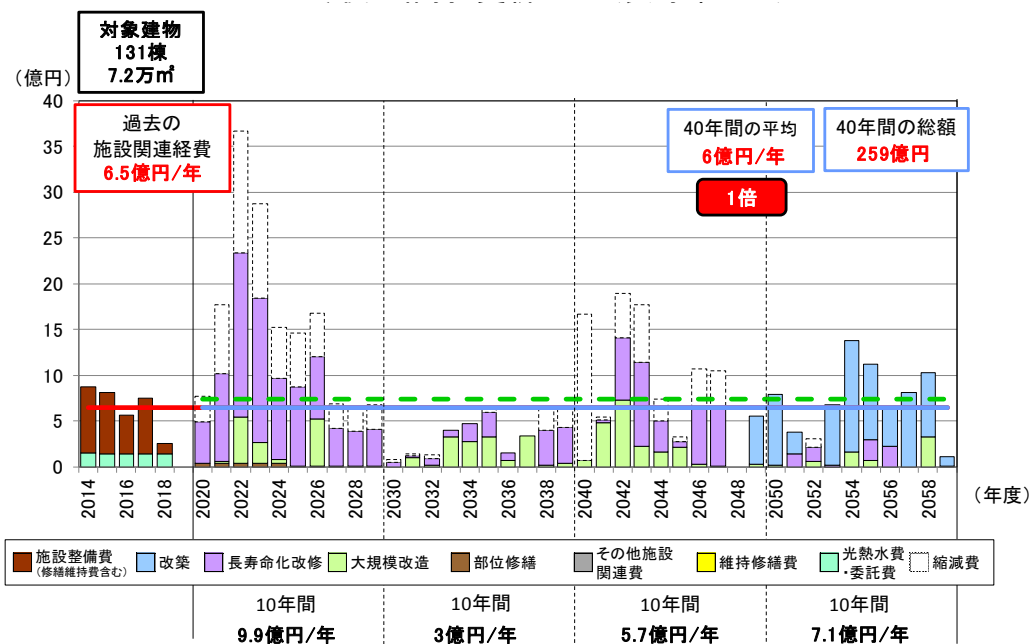
築 20 年を目標に大規模改造を行い、築 40 年を目標に長寿命化改修を行うことを基本にして、劣化状況点検票により把握した老朽化状況を踏まえて、優先順位を決めていきます。また、学校規模の適正化、統廃合の検討状況を踏まえながら、優先順位を決めていきます。

2) 実施計画（今後 5 年間）

実施年度	実 施 内 容
令和 2 年度	トイレ改修工事 (高須小学校、東江小学校、大江小学校、今尾小学校、海西小学校)
令和 3 年度	今尾小学校大規模改造工事設計
令和 4 年度	今尾小学校大規模改造工事
令和 5 年度	海西小学校大規模改造工事設計
令和 6 年度	海西小学校大規模改造工事

②長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針

長寿命化型による維持・更新を実施していても、現状の小中学校の規模（13 校）を維持するためには、40 年間の平均で 1 年あたり約 6 億円必要となります。ひっ迫した現在の財政状況を鑑みると、厳しい状況です。維持管理コストの削減を図りつつ、学校数の適正規模を検討していく必要があります。



(7) 長寿命化計画の継続的運用方針

①情報基盤の整備と活用

施設の状態や過去の改修、設備の交換履歴、事故・故障の発生状況等をデータベースに蓄積するとともに、「学校教育系施設カルテ」と併せて一元管理していくものとします。

②推進体制等の整備

公共施設等総合管理計画の所管課である企画財政課による全庁的な基準・方針等を踏まえながら、学校施設の整備・管理の所管である教育総務課が中心となって、学校教育課と協力して、本計画を基にした学校施設マネジメントを行っていくものとします。

教育総務課では、本計画の進捗管理、適正規模への統廃合、施設の整備工事、設備の整備工事、施設や設備の修繕工事等を主に行うものとします。

学校教育課では、各種法定点検や維持管理上の委託業務の実施、水道光熱費等の維持管理費の管理、教育環境整備のための資材や備品調達等を行うものとします。

③フォローアップ

本計画は、5年ごとに実施計画を見直すものとします。計画の基礎となる児童生徒数の推移や社会環境の変化及び学校規模の適正化、統廃合の検討状況等により、必要に応じて計画を見直すものとします。

また、事業の進捗状況や点検結果の内容によっては、必要に応じて計画を見直すものとします。

海津市 学校施設の長寿命化計画

令和 2 年 月策定

海津市 教育委員会事務局 教育総務課

〒503-0695 岐阜県海津市海津町高須 515 番地

電話 0584-53-1467（直通） FAX 0584-53-1608